

# 消防通信



## 確実にやってくる！「東南海・南海地震」

「地震国・ニッポン」では、地震はいつ、どこで発生してもおかしくありません。東海沖から四国沖を震源とする東南海・南海地震は、ほぼ百年周期で発生し、今後



阪神淡路大震災では多くの家屋が倒壊しました

30年以内に50〜70%の確立で起こると予想されています。この地震は、マグニチュード8クラスの巨大地震で、関東から九州にかけて被害が及び、死者は2万人を超えるともいわれています。

岡山県南部でも震度5〜6の強い揺れによる被害に加え、液状化による被害や沿岸部では津波による被害も想定されています。

### 地震に備えて

地震災害に備えて「自分の身は、自分で守る」という強い心構えを持ち、家族や地域の人たちと協力して、普段から地震に備えておきましょう。

### ■家屋の耐震診断を

古い建物は耐震診断をして、家

屋の倒壊に備えて補強しておきましょう。

※本市では、木造住宅耐震診断補助事業として、昭和56年以前に建てられた一戸建て住宅に、診断費用を助成する制度があります。

詳しくは、市建設課 ☎0869-122-2649まで。

### ■家具類の転倒・落下防止対策を

家具類の下敷きとなることがあります。タンスや本棚、ピアノなどはしっかりと固定し、寝ているときに倒れてこないよう配置も工夫しましょう。

窓ガラスには飛散防止フィルムを張り安全対策を。また安全に避難できるように出入口や通路には物を置かないようにしましょう。

### ■家の周囲の安全対策を

ベランダに落下物を置かないように。ガスボンベやアンテナは固定し、危険なブロック塀は修理・補強しましょう。

### ■非常持出袋の準備を

貴重品、ヘルメット、懐中電灯、携帯ラジオ、救急薬品・常備薬、生活用品などを、日ごろから準備しておきましょう。

また、非常備蓄品として、飲料

水、米、乾パン、板チョコ、缶詰、衣類などを一人3日分用意しておくことも必要です。

### ■家族で防災会議を開こう

家族の役割分担や災害時の連絡方法、避難場所、避難ルートなどを確認しておきましょう。

### 地震が発生したら

わが身と家族の安全を確保するためには、慌てずに行動できるかどうかポイントになります。いざというときにパニックにならないよう、地震発生から避難までの行動パターンをしっかりと覚えましょう。

### 地震から身を守る10か条

- ①まず自分の身を守る
- ②火の始末をする
- ③脱出口を確保する
- ④火が出たらまず消火
- ⑤外へ逃げるときは慌てない
- ⑥狭い路地、塀ぎわ、がけや川べりに近寄らない
- ⑦山崩れ、がけ崩れ、津波に注意
- ⑧避難は徒歩で、荷物は最小限
- ⑨協力して応急救護
- ⑩正しい情報を確認し余震に注意

## 全国統一防火標語

# 火のしまっ 君がしなくて 誰がする

### 平成20年中 緊急出動

#### □火災

火災件数21件（前年より5件減少）の内訳は、建物火災11件、林野火災2件、車両火災1件、その他の火災7件です。損害額は57、607千円で、死者1人、負傷者7人。ちょっとした不注意から火災が発生している事例が多くなっています。

「住宅用火災警報器」を設置することで、早期に火災の発生を知らせ、死傷者を減らせることができます。市内の全住宅に、できるだけ早めの設置をお願いします。



住宅用火災警報器

悪質な訪問販売などには、十分ご注意ください

#### □救急

救急件数1、404件（前年より107件減少）の内訳は、瀬戸内市消防署本署728件、牛窓分

駐所281件、長船分駐所395件です。

事故種別では、急病が856件（61%）で一番多く、一般負傷218件、交通142件と続きます。年齢別では、65歳以上の高齢者が823人（60%）を占めています。

救急件数が減少したのは、住民の皆さんが、より緊急を要する人のために、軽症者の利用を控えた結果だと思われれます。救急病院の問い合わせなどは、瀬戸内市消防署 ☎0869-22-1333へ、気軽に電話してください。

#### □救助

救助件数22件（前年より3件増加）の内訳は、交通事故18件、建物等による事故2件、一般1件、その他1件。

#### □その他

火災以外で58件（前年より4件減少）出動。内訳は、火災危険があったものの8件、調査・警戒に係ったものの23件、誤報・誤認13件、その他油流出など14件となっています。

### ■問い合わせ先

市消防本部  
☎0869-22-1333

## 春季全国火災予防運動 3月1～7日



日ごろから火の取り扱いには十分注意しましょう

空気が乾燥し、季節風が吹き火災が発生しやすい季節です。日頃から火の取り扱いには十分注意して、火災を起こさないようにし、大切な命や財産を守りましょう。

### 初期消火の3つのポイント

- ①早く知らせる
  - ・大きな声で「火事だ！」と叫ぶ。
  - ・119番通報する。
- ②早く消す
  - ・消火器で消火できる目安は、炎が天井までの火。

### ③早く逃げる

・火が天井に届いたら迷わず避難「ゆっくり・慌てず・落ち着いて」この3つのポイントを忘れずに、隣近所に声を掛け、みんなで協力して初期消火に努めましょう。

### 全国山火事予防運動（同期間）

山火事を起こさないようにして、森林の保全と地域の安全に努めましょう。

- ・枯れ草などのある場所で、たき火をしない。
- ・火気使用中はその場を離れず、使用後は完全に消火する。
- ・強風時、乾燥時にはたき火や火入れをしない。

### 119番は落ち着いて正確に

- ①火事か救急か
- ②場所は〇〇町〇〇番地
- ③名前
- ④何が燃えているか
- ⑤電話番号

119番は緊急の場合の電話番号です。火災救急の問い合わせは、☎0869-22-1333へお願いします。